

51 指導主事の目線

先日、本校をはじめ金沢区の小中学校を担当されている「南部学校教育事務所」からお二人の指導主事をお迎えして、先生方と子どもたちがつくる授業を参観していただきました。指導主事は学校で起こる事柄や対外的な対応、文部科学省との連絡等、多岐にわたる業務に携わるのですが、その中でも、各学校を訪問し授業参観を通して学校づくりや授業づくりに対して指導・助言をするというのも大切な仕事があります。

さて、その指導主事から先生方の授業づくりについてのご意見を一部紹介させていただきます。

- 教室環境(学びのための環境：掲示物等、生活のための環境：清掃衛生面等)が整えられている教室が多かったので引き続き継続してほしい。
- 板書に本時のめあてや課題がしっかりと示されていたので、子どもたちは今何を学ぶのが意識できていた。この取り組みも引き続き継続してほしい。
- 子どもの発言やノートの記述を褒める場面をいくつか見かけた。学習意欲の喚起継続につながる。
- 今回は、ICT 活用の場面があまり見られなかった。今後、使用場面を計画的に考えてほしい。
- 課題やめあてはしっかりと示されていたので、内容については、学びを自分事としてとらえるためにも、子どもの必要感から引き出すようお願いしたい。
- 学習中の子どもたちの姿勢(座り方)が気になった。

これはもちろん教職員には伝えてあります。こうした外部からみた自分たちの取り組みをしっかりと見つめなおし、振り返り、次に生かすことが大切なのです。